

群馬県自転車協同組合

木村順一理事長 談 設立：昭和34年

未来へのメッセージ

自転車は環境に優しい移動手段として関心が高まる一方で、自転車事故の多発や運転マナーの悪化が社会問題となっています。自転車安全利用に向け点検整備や交通マナーの周知を行っていきます。



1枚の写真（学校点検）

群馬県の『交通安全教育アクション・プログラム』の施策項目に「自転車安全点検・整備」があり、当組合はその活動の一翼を担っています。自転車安全利用とマナー向上のため、組合員が学校等に出向いて点検・指導を行うとともに、保険が付加されたTSマークの普及にも努めています。

漢字一文字

自転車などの乗り物や物を運ぶ道具の多くには車輪がついており、円滑に回転することで機能が発揮されます。時に人の想像を超え発揮されることもあり、危険なモノに化けてしまいます。組合と組合員、そして利用者が「輪」を組み、安全・安心を重んじ自転車が利用されるよう今後も活動していきます。



群馬県鍍金工業組合

伊藤 淳理事長 談 設立：昭和33年

未来へのメッセージ

メッキの技術は、今や様々な製品に用いられており、産業の礎となっています。その責任と誇りをもち、先人達が培った固有の技能と知恵を継承し、更なる飛躍に向けて力強く前進して参ります。



1枚の写真（教育研修会）

これは、当組合で主催した「毒物劇物取扱者試験事前講習会」の写真です。当業界では危険な化学物質を扱うので、資格の取得は必須です。また、環境への配慮も欠かせません。

当組合では、様々な研修会の実施を通じて、組合員の技術力の向上と知識の習得に最も力を入れています。

漢字一文字

我々の仕事は、金属の表面に装飾を施すことですが、決して、うわべを装っている訳ではありません。メッキ加工には、金属の見た目を美しくするだけでなく、防蝕や新たな機能を持たせる効果があります。「メッキが剥げた」と言われることがないように、見た目ではなく、中身で勝負していきたいと思えます。

